



環境省

エコアクション21
認証・登録番号 0007502

エコアクション21

環境経営レポート 2021

【対象期間】 2020年4月～2021年3月



2021年4月1日 発行



建設コンサルタント・補償コンサルタント
株式会社 有明測量開発社

目次

1. 会社概要	1
2. 環境経営方針	3
3. エコアクション21実施体制	4
4. 環境経営目標〔中期環境経営目標〕	5
5. 主な環境活動	6
6. 環境活動の取り組み結果の評価及び今後の取り組み	7
7. SDGs への取り組み	13
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価・結果 並びに違反・訴訟等の有無	17
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	19
10. 環境活動の紹介	20

1. 会社概要

1. 事業所

株式会社 有明測量開発社
代表取締役社長 藤 本 祐 二

2. 所在地 [対象組織・事業所]

【1】株式会社有明測量開発社

本社 熊本県熊本市南区幸田2丁目7番1号
玉名支社 熊本県玉名市繁根木143-2
天草営業所 熊本県天草市本渡町広瀬2-8
福岡営業所 福岡県福岡市東区奈多1-2-20-411
山口営業所 山口県山口市小郡下郷23-1
八代営業所 熊本県八代市旭中央通6-6旭中央ビル3F
球磨営業所 熊本県球磨郡多良木町多良木1521-42
五木出張所 熊本県球磨郡五木村甲字下手2672-22
大津営業所 熊本県菊池郡大津町大字大津231-31
上天草営業所 熊本県上天草市松島町今泉4088-8
山都出張所 熊本県上益城郡山都町瀬貝50-1
下関営業所 山口県下関市生野町1-5-10

【2】株式会社建設サポートセンター [関連会社]

本社 熊本県熊本市南区幸田2丁目7番1号

3. 事業（活動）の内容 [対象事業所]

測量業務、建設コンサルタント業務、補償コンサルタント業務、
不動産鑑定業務、文化財調査業務、システム開発

	測量	建設コンサルタント	補償コンサルタント	不動産鑑定	文化財調査	システム開発
(株)有明測量開発社	○	○	○	○	○	○
(株)建設サポートセンター	○	○				○

4. 事業の規模

【設 立】昭和38年11月29日 【資本金】10,000,000円
【社員数】109人（2021年4月1日現在）
【売上高】1,547百万円（令和2年度）

5. 連絡先

【環境管理責任者】宮部静夫 / 【連絡担当者】馬場みゆき
【連絡先】TEL 096-381-4000（代表） / FAX 096-381-2204（代表）

6. 会計年度

【期首】1月 【期末】12月

1. 会社概要

7. 経営理念、基本方針、行動方針

経営理念	私たちの使命は創造的で安全安心な地域づくりに貢献すること
基本方針	私たちは誠意と熱意をもって顧客の信頼に応えます 私たちは創意工夫をもって新しい技術に挑戦し続けます 私たちは社員の幸福と社会の継続的な発展のために適正利潤を追求します
行動方針	誠実、謙虚で努力を惜しまないこと 明るく前向きで、建設的な態度であること 互いに助け合い、協同、協調に重きを置くこと 他者への配慮を忘れず、よき信頼関係を築くこと 仕事の結果にかかわらず、常に感謝の心を持つこと

8. 有資格者〔2021年4月現在〕

資格名	取得者数	資格名	取得者数
技術士(総合技術管理部門)	3名	農業水利施設補修工事品質管理士	3名
技術士(建設部門)	8名	水産工学士	1名
技術士(農業部門)	4名	労働安全コンサルタント	1名
技術士(上下水道部門)	1名	測量士	45名
技術士補	6名	測量士補	10名
APEC エンジニア(Civil)	1名	地籍調査管理技術者	11名
RCCM	9名	地籍主任調査員	15名
農業土木技術管理士	5名	補償業務管理士(7部門)	11名
1級土木施工土木管理技士	14名	一級建築士	1名
畑地かんがい技師	3名	二級建築士	1名
コンクリート診断士	3名	不動産鑑定士	2名
土木鋼構造診断士	1名	土地改良補償業務管理者	1名
河川維持管理技術者	1名	学芸員	5名
河川点検士	10名	埋蔵文化財調査士	1名
道路橋点検士	4名	基本情報技術者	3名
地質調査技士	1名	情報セキュリティマネジメント	1名
斜面判定士	4名	初級システムアドミニスレータ	2名

2. 環境経営方針

1. 環境経営方針

株式会社 有明測量開発社 環境経営方針

1. 基本理念

社会基盤整備に伴う測量・調査・設計などのコンサルタント業務をとおして、創造的で安全安心な地域づくりに貢献します。地球環境の保全に配慮した活動を積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2. 環境保全への行動指針

- ① SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、持続可能な地域づくりのために、環境保全活動に取り組みます。
- ② 測量・調査・設計等の業務の中でICT技術・3次元データ（i-con・CIM）を取り入れた業務の改善に努め、生産性の向上に努めます。
- ③ 事業活動における環境への負荷を把握し、環境負荷の低減に努めます。
- ④ 環境に影響を及ぼす業務においては、積極的に環境負荷低減に配慮した工法及び材料の提案を行い、環境保全に取り組みます。
- ⑤ 環境保全活動に関する教育・啓発活動を定期的の実施し、環境経営方針の理解と周知・徹底に努めます。
- ⑥ 継続的にグリーン購入を推進し、環境保全活動に寄与します。
- ⑦ 化学物質等については、使用方法を熟知し、適正に利用・保管します。
- ⑧ 環境保全活動は、それぞれの役割を認識し、創意工夫をもって推進します。
- ⑨ 環境保全に関連する法令、その他規則などを常に確認し、遵守します。
- ⑩ 【4R [R e f u s e（リフューズ）ゴミになるものを断る／R e d u c e（リデュース）ゴミを減らす／R e u s e（リユース）繰り返し使う／R e c y c l e（リサイクル）資源を再利用する】の実践を行う。

制定日：平成22年12月29日

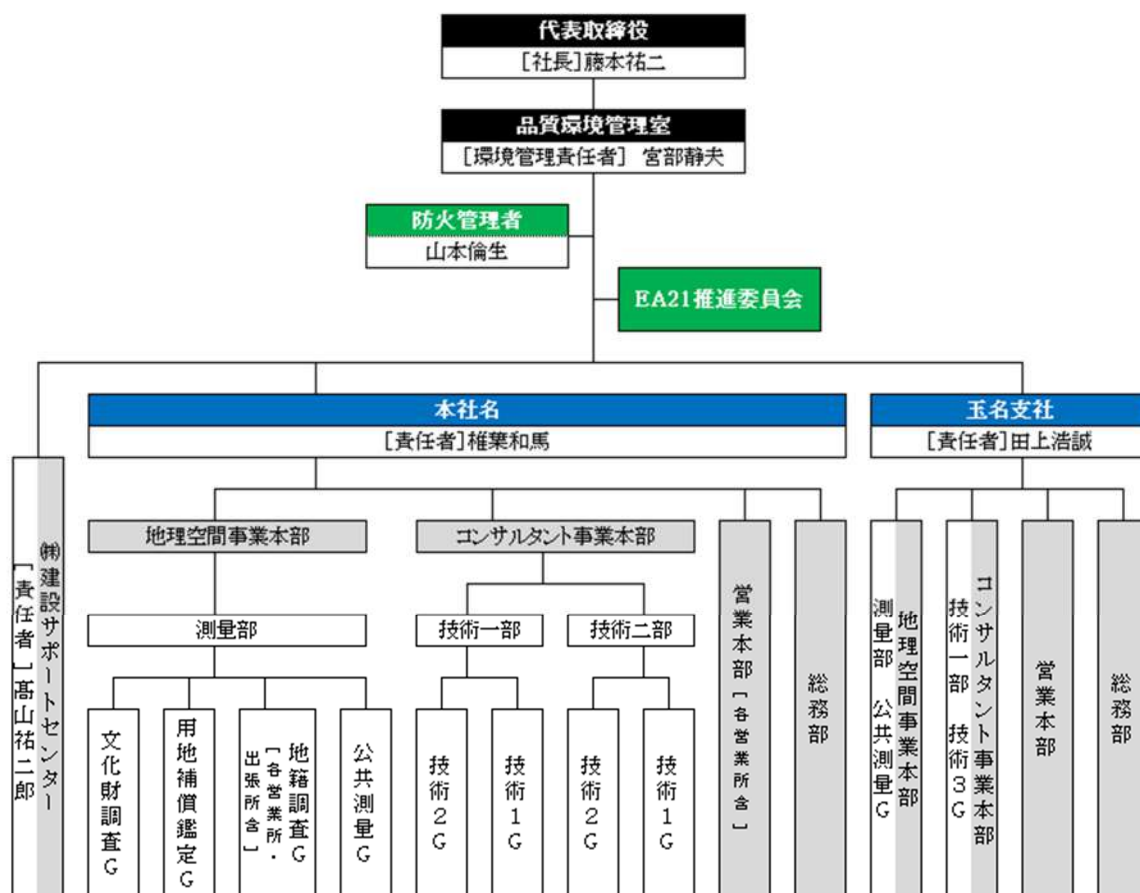
改定日：令和3年4月1日

株式会社 有明測量開発社

代表取締役社長

藤本祐二

3. エコアクション 21 実施体制



責 任	役 割
代表者	■ 環境経営方針を策定する。 ■ 環境管理責任者を選定する。 ■ E A 2 1 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行なう。 ■ 環境保全に関する経営資源の提供。
品質環境管理室	■ E A 2 1 活動を構築し統括する。 ■ E A 2 1 の運用状況を報告する。 ■ 環境経営レポートを作成する。 ■ 環境計画の提言と進捗管理を行う。
防火管理者	■ 消火器の点検 ■ 火災報知機の点検 ■ 防火訓練、教育の実施
E A 2 1 推進委員	■ 環境活動に対して検討する。 ■ 決定事項を社員に指示管理する。
社員	■ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ■ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する。 ■ 環境活動で気づいた事があれば改善点を提案する。

4. 環境経営目標 [中期環境経営目標]

分類	番号	項目／単位		令和 2 年度 実績値	環境目標 [前年度比 1%削減]		
					令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
要求項目	1	二酸化炭素排出量	kg-co2	187,176.78	185,305.01	183,451.96	181,617.44
		① 電気使用量	kwh	122,180.00	120,958.20	119,748.62	118,551.13
		② ガソリン使用量	L	51,838.99	51,320.60	50,807.39	50,299.32
		③ 燃費消費量	km/L	15.05	15.20	15.35	15.50
		④ 軽油使用量	L	1,267.31	1,254.64	1,242.09	1,229.67
		⑤ 灯油	L	486.00	481.14	476.33	471.57
		⑥ 液化石油ガス (LPG)	kg	80.30	79.50	78.70	77.92
	2	廃棄物排出量	Kg	2,678.00	2,651.22	2,2624.71	2,598.46
	3	水使用量	m3	722.00	714.78	707.63	700.56
	4	化学物質の適切な管理 (塗料、接着剤)	管理状況の確認 1 回/月				
	5 ◆	熊本県 SDGs の推進	—	—	申請・登録	取組推進	取組推進
	6 ◆	電子申請システム [㈱建設サポートセンター]	生産性向上に向けたシステムの開発・改善				
努力項目	7	社会貢献活動	植林活動、道路・河川清掃等 4 回/年				
		地域の清掃の実施	毎営業日				
	8	グリーン購入率	%	44.49	44.93	45.38	45.84
	9	紙の購入量	kg	3,775.67	前年度 1%増を目標とする 熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目No.28		
					3,737.91	3,700.53	3,663.53
					前年度 1%減を目標とする 熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目No.28		

【注記】電力の二酸化炭素排出係数は 0.509（九州電力平成 27 年度）を使用している。

【注記】◆については、令和 3 年度からの項目

5. 主な環境活動

分類	項目	具体的な活動	事務所	現場	評価
要求項目	1-① 電気使用量の削減	昼休みの消灯	○	－	○
		使用時以外のトイレ、会議室の消灯	○	－	○
		冷暖房設定温度の厳守	○	－	○
		ＯＡ機器の退社時の電源ＯＦＦ	○	－	○
		空調機フィルターの定期的清掃（６月、１２月）	○	－	○
		省エネステッカーによる目で見える周知	○	－	○
		日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（６月～１０月）	○	－	○
	1-② ガソリン 1-③ 燃費消費量 1-④ 軽油の使用量削減	アイドリングストップの推進	－	○	○
		経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）	－	○	○
		法定速度の遵守	－	○	○
		車両の相乗りの推進	－	○	○
		車両点検の実施（適正空気圧、異常が無いこと）	－	○	○
		運転日誌に省資源推進の項目を記載する事によって周知	－	○	○
		走行距離の集計、燃費記録の把握	○	－	○
	1-⑤ 灯油 1-⑥ 液化石油ガス（LPG）	口頭での省エネの推進	○	－	○
	2 廃棄物排出量の削減	ゴミの分別の徹底	○	－	○
		ゴミ分別、リサイクル等のステッカーによる周知	○	－	○
	3 水使用量の削減	水使用量の把握	○	－	○
		節水コマ・泡沫器を設置し節水の推進	○	－	○
		節水ステッカーによる目で見える周知	○	－	○
	4 化学物質の適切な管理（塗料、接着剤）	整理整頓の実施（毎日）	○	－	○
		漏洩時の後始末の徹底（適時）	○	－	○
		ＳＤＳの取り寄せと内容の理解（適時）	△	－	△
		環境法規の学習（適時）	△	－	△
	5 熊本県 SDGs の推進◆	SDGs への取組（P.13～P.16）	－	－	－
	6 電子申請システム◆	電子申請システムの改善	－	－	－
	7 地域との環境・社員の環境コミュニケーションの向上	社会貢献活動〔植林活動、道路・河川清掃等〕（４回/年）	－	○	○
		地域の清掃の実施（毎営業日）	－	○	○
努力項目	8 グリーン購入率の向上	熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目No.28			
	9 紙の購入量削減	熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目No.28			

【凡例】 ○：できている △：だいたいできている ×：できていない

【注記】 環境活動の推進責任者は E A 2 1 推進委員であり、全社員が取り組むように指導する。

【注記】 ◆については、令和 3 年度からの項目

6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-1 12ヶ月間の取組み結果 [運用期間：2020年4月1日～2021年3月31日]

分類	項目	目標値 [R1年度の1%削減値]	実績	達成度 (%)	結果
要求項目	1. 二酸化炭素排出量	161,765.01 kg-CO2	187,176.78 kg-CO2	86.42	○
	① 電気使用量	108,969.30 kwh	122,180.00 kwh	89.18	○
	② ガソリン使用量	42,914.52 L	51,838.99 L	82.78	○
	③ 燃費消費量 ★	16.87 km/L	15.05 km/L	89.18	○
	④ 軽油使用量	2,261.16 L	1,267.31 L	178.42	○
	⑤ 灯油	245.52 L	486.00 L	50.51	△
	⑥ 液化石油ガス (LPG)	97.02 Kg	80.30 kg	120.82	○
	2. 廃棄物排出量	2,964.06 kg	2,678.00 kg	110.68	○
	3. 水使用量	880.11 m3	722.00 m3	121.89	○
	4. 化学物質の適切な管理 ★	管理状況の確認1回/月	管理状況の確認1回/月	100	○
	5. 熊本県 SDGs の推進 ◆	-	-	-	-
	6. 電子申請システム ◆	-	-	-	-
努力項目	7. 地域との環境・社員の 環境コミュニケーションの向上 ★	社会貢献活動 [植林活動、道路・河川清掃等] (4回/年)	社会貢献活動 [植林活動、道路・河川清掃等] (4回/年)	100	○
		地域の清掃の実施 (毎営業日)	地域の清掃の実施 (毎営業日)	100	○
	8. グリーン購入率 ★	52.52 %	44.49 %	84.71	○
	9. 紙の購入量	3,929.31 kg	3,775.67 kg	104.06	○

【注記】電力の二酸化炭素排出係数は0.509（九州電力 H27年度）を使用している。

【注記】取組結果の達成度は、是正処置の基準に合わせ80%以上を○としている。

【注記】達成度は、目標値/実績*100とするが、★印については、実績/目標値*100とした。

【注記】◆については、令和3年度からの項目

6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-2 12ヶ月間の取り組みの評価 [グラフは過去の環境経営レポートより]

二酸化炭素排出量



【二酸化炭素排出量項目】

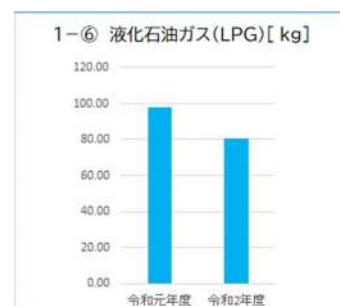
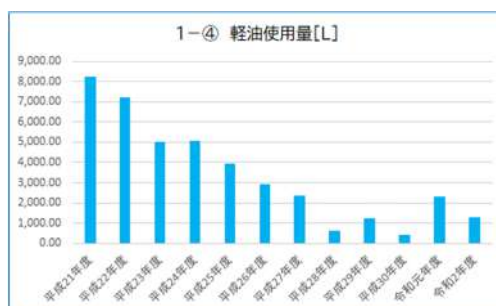
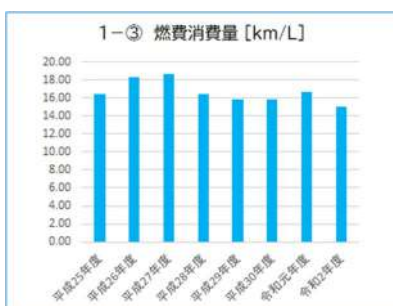
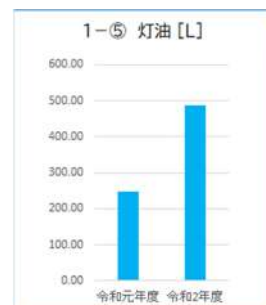
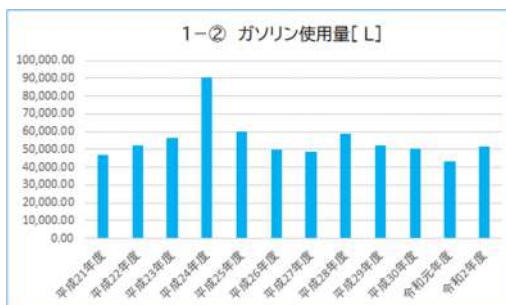
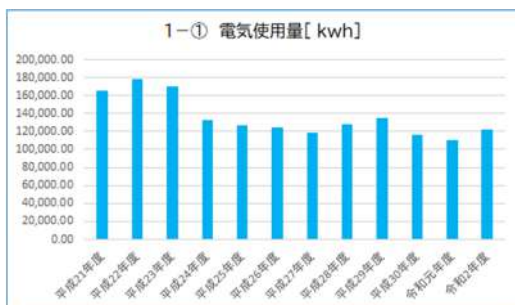
- 電気使用量
- ガソリン使用量
- 燃費消費量
- 軽油使用量
- 灯油
- 液化石油ガス(LPG)

【評価】

令和2年度は、目標値を約14%下回る結果となった。

特に、灯油に関しては、約50%の達成率にとどまっている。

これは、令和2年7月に発生した熊本豪雨災害の業務処理に起因するものと思われる。



6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-2 12ヶ月間の取り組みの評価〔グラフは過去の環境経営レポートより〕

廃棄物排出量



〔ゴミ収集場所に掲示〕

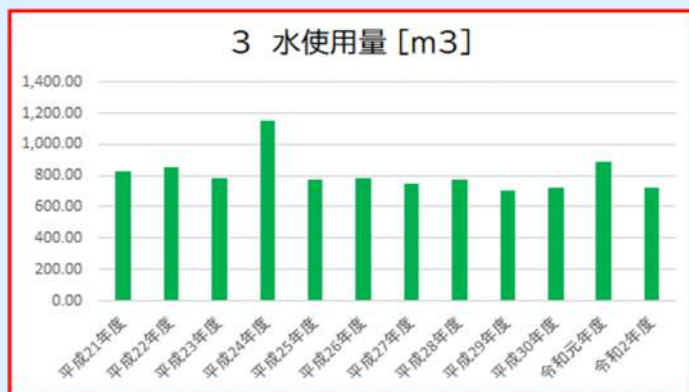
[illegible]

【評価】

7 種類で分別収集しているが適正に処分出来ており、令和 2 年度は、目標値を約 11%上回った。

日ごろから分別を心掛け、環境保全へ持続的に取組んだ成果と思う。

水使用量



〔節水ステッカーの貼付〕



【評価】

令和2年度は、目標値を約22%上回った。

手洗い、飲料水、食器洗いなどによる水使用量を節約するために節水ステッカーなどで啓発活動に取り組んだ成果だと思う。

来年度は、更なる節水効果を期待し、泡沫キャップを設置する。

6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-2 12ヶ月間の取組みの評価 [グラフは過去的环境経営レポートより]

- 社屋周辺では、定期的に道路清掃活動等に継続して取り組んでいる。また、今年度はコロナ禍にも関わらず、環境保全活動の一環として、ボランティアへの積極的な参加、更には「令和2年度熊本豪雨災害」の災害ボランティアへの自主的な参加を行った。
- **4R運動** [**R**efuse／ゴミになるものを断る] [**R**educe／ゴミを減らす] [**R**euse／繰り返し使う] [**R**ecycle／資源を再利用する] を推進した結果、令和2年度は、紙の購入量が目標値に対し、約4%削減できた。裏紙の使用や、両面コピー・印刷の促進、更にペーパーレス化に向けた電子申請システム移行への加速に繋がっていると思われる。
- 一方で、グリーン購入対象品（文具類等）については、近年50%前後の購入率に留まっている。今後、調達にあたり、環境負荷の低減を考慮しつつ、品質等に加え、予算の制約も踏まえ、実施していく。



6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-3 今後の取組み

- 今後も環境管理責任者、E A 2 1 推進委員及び社員一人一人が環境活動の役割分担に基づき、継続して取組みます。
- S D G s（持続可能な開発目標）の達成に貢献すべく、様々な活動を通して、社会的責任を果たします。[「熊本県 S D G s」登録申請中]
- 測量・調査・設計・補償等の業務を主に官公庁から受注しているため、発注機関に環境保全に対する取組みを積極的にアピールしていきます。
- 建設コンサルタント会社として、環境に配慮した工法・資材、部材等の使用の提案、工期短縮につながる工法の提案等を積極的に行い、環境負荷の低減に努めます。
- 現場業務（測量、現地調査等）が多く車の走行距離が伸びる傾向にあるので、エコドライブを徹底しガソリン消費量と同時に、燃費（k m/L）でのデータ管理を行い、C O₂ 排出を削減に努めます。
- 平成30年4月から、勤務体制が完全週休2日制になり、更に、（一社）建設コンサルタンツ協会が主催する6月・10月の「協会会員の一斉ノー残業デー」にあわせて、弊社独自に6月～10月全ての水曜日をノー残業デーと定めた。一層の環境保全活動に取組みます。
- 4 Rを、本年度も継続して推進します。
- 「認定 N P O 方針 世界の子どものワクチンを 日本委員会（JCV）」に賛同し、ペットボトルの蓋の回収を始めます。[詳細次頁参照]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



6. 環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-4 ペットボトルキャップ支援

- 「認定 NPO 方針 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 [JCV]」に賛同し、ペットボトルの蓋の回収を新たに 2021 年度より始めます。

【目安】

キャップ 430 個=約 10 円

キャップ 500 個=約 1Kg=約 11.6 円

45L ゴミ袋 1 袋=約 7Kg=約 81.2 円

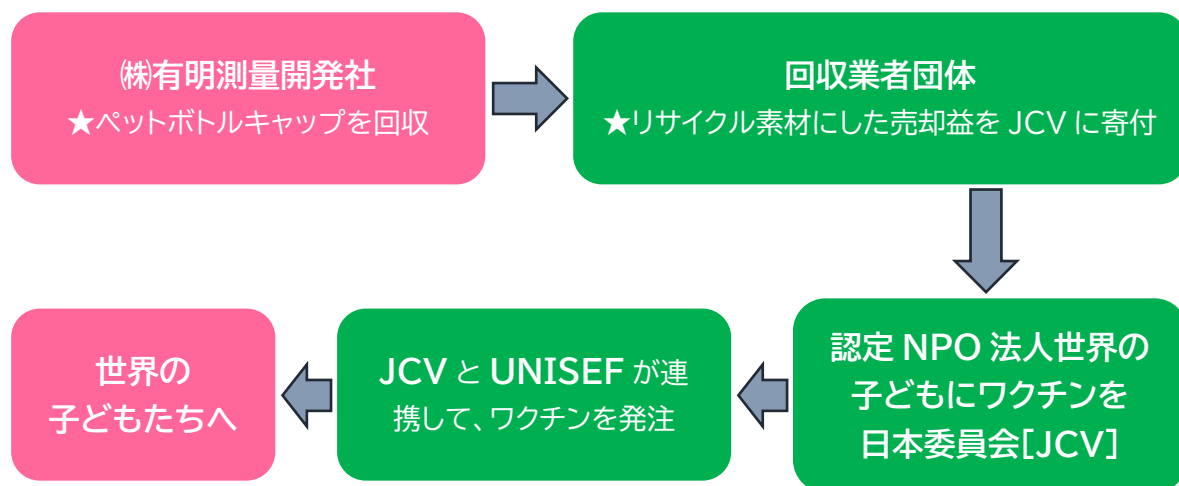
【ワクチンの単価(一人分概算)】

ポリオ(小児マヒ) 約 20 円

はしか 約 95 円

BCG(結核) 約 7 円

三種混合(はしか、おたふくかぜ、三日ばしか) 約 114 円



7. S D G s への取組み

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度 基本項目のみ抜粋	当社における具体的な取組	主な SDG s
組織・公正な取引	1 内部管理体制	経営理念・基本方針・行動方針を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を社員に説明するとともに、社員が常用する社内情報共有システムのトップ画面に掲示している。	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	2 法令順守	全従業員に対し、法令順守の重要性を職場の内部監査等で啓発を行うとともに、掲示板等で情報を発信している。 外部研修セミナーなどに毎年参加し、研鑽に努めている。	16 平和と公正をすべての人に
	3 公正な競争	会社として公正な取引に努め、外部に委託する場合は明文化した注文書で経営者まで決裁を受けることとしている。	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
	4 組織体制	管理責任者（担当取締役）や担当者を任命し、役割を明確にしたうえで実施している。	16 平和と公正をすべての人に
	5 知的財産保護	知的財産の保護は、技術力の評価・活性化、成果品の質の向上等に寄与することから、所有権の帰属先や成果物の取り扱い等について常に意識して取組んでいる。	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	6 個人情報保護	情報漏洩防止策として「機密文書管理システム」を構築し、管理体制を徹底している。	16 平和と公正をすべての人に
	7 ステークホルダーとの対話	顧客（発注者）へのアンケートを行い顧客の声（特にクレーム）に耳を傾け、信頼確保向上のため双方向コミュニケーションに取組んでいる。	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
労働・人権	12 差別の禁止	雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を行っている。	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
	13 労働安全衛生	社内での安全大会や協力会社を含めた安全管理・品質管理研修会を毎年実施し、労働環境の整備に取組んでいる。	3 持続可能な開発目標をすべての人に 8 働きがいも経済成長も
	14 公正な待遇	従業員（正社員、契約社員、臨時職員）の公正な待遇を行っている。	5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう

7. SDGs への取組み

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度 基本項目のみ抜粋	当社における具体的な取組	主な SDGs
労働・人権	15 ワークライフバランス	残業時間の管理徹底や業務効率化による労働時間の短縮、完全週休2日制の導入など働き方改革に積極的に取り組み、有給休暇など取得奨励を実施している。	   
	16 人材育成	社内研修や必要経費の支給など環境整備を図り、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。また、取得後は、資格手当も支給している。	   
	17 健康経営	月初めの合同朝礼時に交通事故や現場事故等への注意喚起を行うとともに、会社主催のイベントなどを通じて心身の健康増進へ取り組んでいる。	  
	18 ダイバーシティ経営	業務運営、資格取得、昇進昇格等すべてにおいて、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。	    
環境	22 環境汚染予防	化学物質等の使用方法を熟知し、月1回の状況確認を行うなど適切な管理及び処理に取り組んでいる。	     
	23 エネルギー	年度毎の環境目標を立て推進委員が全社員に対し指導を行うとともに、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を把握し削減に取り組んでいる。	 
	24 温暖化対策	年度毎の環境目標を立て推進委員が全社員に対し指導を行うとともに、簡易計算シート等を用いて CO2 排出量を把握し削減に取り組んでいる。	     
	25 生物多様性	積極的に環境負荷低減に配慮した工法及び材料の提案を行い、生物多様性の保全に努めている。	  

7. S D G s への取組み

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度 基本項目のみ抜粋	当社における具体的な取組	主な SDGs
環境	26 効率的な資源利用	電子化できるものは電子化しペーパーレス化を促進するとともに、両面コピー、両面印刷、一度使用した紙の裏面再使用を図っている。	   
	27 水の管理	水源涵養に寄与するため植林活動に取り組んでいる。 水の使用量を把握するとともに、節水コマの設置や節水ステッカーの貼付などを通じて社員に周知している。	     
	28 環境に配慮した製品等	紙の購入量の削減、グリーン購入率の向上に向け、可能な限り取り組んでいる。	    
製品・サービス	37 製品・サービスの安全性と品質	I S O 9 0 0 1 を 2 0 0 0 年 に 取 得 し 現 在 も 継 続 中 で あ る。 提供する成果物・サービスの品質を確保するため、顧客（発注者）へのアンケートを行い、顧客の声（特にクレーム）に耳を傾け、改善点を明確にしPCDAに取り組んでいる。	   
	38 ユニバーサルデザイン	建設コンサルタントとしての日ごろの業務の中で、ユニバーサルデザインに配慮した工法及び材料の提案を継続的に行い、環境整備に努めている。	   

7. S D G s への取組み

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度 基本項目のみ抜粋	当社における具体的な取組	主な SDGs
持続可能な社会・地方創生	43 地域への参画	地域事業者として、植林活動や河川清掃に各々 年 4 回程度参加している。 毎月の営業日において、社屋周辺の道路清掃活 動を実施している。	                
	44 防災・減災・レジリエンス	【予定】令和 4 年 3 月までに避難訓練を行う。 【予定】令和 4 年 3 月までに、事業所に防災備蓄品を整備する。	  

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価・結果並びに違反・訴訟等の有無

8-1 環境法規制登録表（兼）評価表

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適切な管理	一般廃棄物	－	[法規制] 1 熊本市役所、玉名市役所の許可書等で確認し、適切な業者への依頼 [自主規制] 1 分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	廃棄発生時 週1回確認	○ ○
水銀に関する水俣条約	水銀使用廃製品の適切な管理	蛍光灯 水銀使用電池	－	[法規制] 1 熊本市役所、玉名市役所の許可書等で確認し、適切な業者への依頼 2 適切な分別、廃棄物収集場所の掲示	廃棄発生時 常時	○ ○
家電リサイクル法	特定家電	テレビ 冷蔵庫 家庭用エアコン	－	[法規制] 1 リサイクル料支払い 2 廃棄時適切な業者への依頼	廃棄発生時 廃棄発生時	○ ○
リサイクル法	PC類の適切な廃棄	パソコン類	－	[法規制] 1 リサイクル料支払い 2 廃棄時適切な業者への依頼 3 メーカーの引き取り	廃棄発生時 廃棄発生時 廃棄発生時	○ ○ ○
自動車リサイクル法	社用車の適切な廃棄	社用車	－	[法規制] 1 リサイクル料支払い 2 廃棄時適切な業者への依頼	廃棄発生時 廃棄発生時	○ ○
騒音規制法 （「熊本県生活環境の保全に関する条例」で騒音規制）	大型エアコンの騒音防止	大型エアコン（フロン使用） 原動機 2.25kw以上	○	[法規制] 1 特定施設設置（使用）届出（熊本市役所、玉名市役所） [自主規制] 1 異常音発生時の停止、修理	設置時 異常時	○ ○
フロン排出抑制法	大型エアコンの適切な廃棄（フロン使用）	大型エアコン（フロン使用）	－	[法規制] 1 定期点検の実施 2 廃棄時、適切な業者への依頼 3 回収委託書発行、引取証明書受理（3年保管）	3か月に1回 支払い時 廃棄時	○ ○ ○
消防法	事務所、作業所の消防設備	建屋	－	[法規制] 1 消火器の設置 2 非常口の確保 3 火災発生時の安全な避難と119番通報 [自主規制] 1 定期的な火災に関する教育・訓練の実施	随時 随時 火災発生時 1回/年	○ ○ ○ ○
	危険物の適切な管理	塗料、接着剤	－	[法規制] 1 名称記載（商品に記載されている） 2 盗難防止（倉庫シャッター閉）	随時 随時	○ ○
その他の環境要求事項	業務毎	現場	該当時	顧客からの環境要求（当該業務仕様書等含む）	受注時 要望時	○ ○

8-2 環境関連法規の順守状況及び訴訟等の有無

- 環境法規一覧表で遵守状況を確認した結果、当社が遵守すべき環境関連法規及び条例に対する違反はありませんでした。また、発注者等からの違反などの指摘もありませんでした。
- 現地での作業（測量、調査等）に対する違反、関係当局による指摘もありませんでした。
- 環境に関する苦情、訴訟等もありませんでした。

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価・結果並びに違反・訴訟等の有無

8-3 業務表彰

■環境に悪い影響を及ぼす災害の拡大防止への対応や防災・減災に向けた設計業務等に対し、各関係機関より多くの表彰を頂いています。

2020.08.21

熊本県農村振興技術連盟優良業務表彰



2020.07.20

令和2年度九州地方整備局国土交通行政功労表彰
九州地方整備局長表彰



2020.03.30

福島県県中建設事務所より感謝状



2019.07.19

国土交通省九州地方整備局長表彰



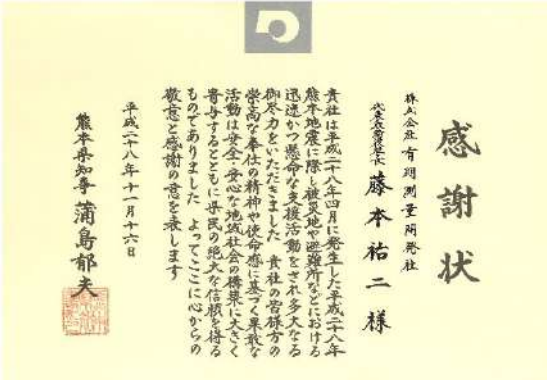
2018.02.13

熊本県優良委託業務表彰



2016.11.16

熊本県知事より感謝状



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- エコアクション21活動も、2011年9月の登録から10年目となり、社員の環境に対する意識が浸透している状況である。今後も「環境経営方針」に基づき、継続的な環境経営及び環境保全活動に取り組んで参ります。
- 経営方針に掲げる「私たちの使命は創造的で安全・安心な地域づくりに貢献する」のもと国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、安全安心で快適な社会の持続的発展と健全で恵み豊かな環境保全や継承を支える事業活動を展開して参ります。
- 環境関連法規については、社員全員が法令遵守できるよう継続的に取り組みます。また、植林、道路、河川清掃等のボランティア活動にも積極的に参加して参ります。
- 働き方改革を踏まえ過度な長期間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進するとともに、環境負荷の軽減や生産性向上の観点から無人航空機（UAV: Unmanned Aerial Vehicle）、ICT技術等を活用した業務処理に積極的に取り組んで参ります。
- また、高度経済成長期に建設された社会インフラは今後急速に老朽化することが懸念されます。老朽化した施設を撤去して新たに建設するより維持管理に重点を置く社会は、地球環境への負荷を大きく削減できる可能性を秘めていると思います。効率的なインフラ整備・維持と高度な公共サービス、そして環境への配慮を同時に取り組むため、ICT技術等の積極的導入と人材育成に努めるとともに業務拡大を図って参ります。
- 新型コロナウイルス感染症対策が長期化する中、新しい生活様式を踏まえた仕事の進め方・職場環境の構築が急務となっています。緊急事態下においても事業が継続できるようテレワーク・WEB会議・勤怠業務管理等を逐次整備し、引き続き持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

2021年4月1日

代表取締役社長

藤本祐二

10. 環境活動の紹介

地域とのコミュニケーションを大切にして、地域に貢献しています

- 周辺道路の清掃を行い、交通の安全確保と同時に道路景観づくりに貢献しています。
- 社屋周辺の道路清掃及び水路内のゴミ拾い等を始業前から毎朝実施しています。

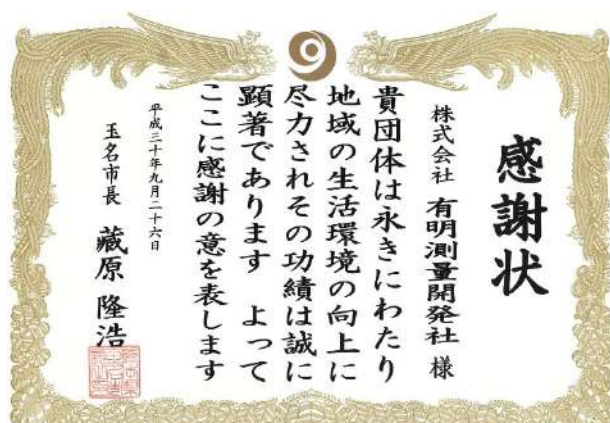
本社社屋周辺



玉名支社社屋前



玉名市からの感謝状



10. 環境活動の紹介

社員の環境保全活動の向上に取り組んでいます

- 社員の環境保全に対する啓発活動として植林活動・道路・河川の清掃活動にボランティアとして積極的に参加しています。

金峰会植樹



しらかわの日



10. 環境活動の紹介

「令和2年7月熊本豪雨災害」のボランティアに参加しました

令和2年7月 豪雨被害のボランティア活動



【会社名】
株式会社 有明測量開発社

【期間・場所】

・7月18日 芦北町

・7月19日 人吉市

7月26日 人吉市

9月19日 芦北町

【活動内容・感想等】

災害発生時直後から現場調査に入り、被害状況を目の当たりにし、少しでも復興の力になればとの思いで参加しました。日頃、仕事で培ったチームプレーを発揮し手際よく作業が進み、皆さんに感謝されうれしく思うと共に、災害業務への意欲もより一層高まりました。

社内のごみ分別ステーションにて資源ごみ等を適切に仕分けしています

本社



玉名支社

